カラー■當山二世中興大圓武志大和尚三回忌……1
特集●育英会再開に向けて―博志住職タイへ……13
●北陸参拝旅行　大乗寺・永光寺を訪ねて……19
連載●『普勧坐禅儀』に学ぶ　その二……安藤嘉則　31
カラー■ほほえみ子安観音開眼式……39
読物●ほほえみ子安観音さま……東郷　敏　43
●春彼岸法要法話　彼岸と供養……佐々木宏幹　51
●秋彼岸法要法話　まごころに生きる……関水俊道　76
●人同じからず　―「生きる力」より転載……黒田博志　92
●参禅会・写経会のお知らせ……94
●善光寺霊園ニュース……98
●ニュース・アラカルト……105
留学僧募集のお知らせ　102
読者のたより　113
編集後記　120

題字・イラスト　伊藤三喜庵

巻頭言

善光寺住職　黒田博志

「三年父の道、改むるなきは孝というべし」

この言葉を胸に日々歩んでおりますが、歩めば歩むほどに師父の道は高く、険しいものと実感しております。

師父大圓和尚が遷化してより暦の上では三年が経とうとしております。昨年末無事に三回忌も相済ませ、この間山内行事等も、師父存命中といささかも変わることなくいまを迎え過ごしております。これもひとえに、檀信徒の皆様方、関係のご寺院様方、関係各位様のおかげでございます。心より深く深く感謝申し上げ

ます。

「宗祖を通して釈尊に還る」という師父の理念に鑑み、昨年、単身で永平寺と共に曹洞禅の源流をなす石川県の古刹、大乗寺・永光寺を訪ねました。本年はまた六十余名の檀信徒の方々と共に拝登し、改めて曹洞宗の法脈とその尊崇、さらには歴史の重さを再認識することができました。

また師父の遺志、「善光寺留学育英会」もこの三年間止む無く休会しておりましたが、来春より再開させて頂く運びとなりました。振り返りますと、病床にあった父が私の目をしっかりと見つめて「いいか、博志。育英会は善光寺の支柱である。お前の代になっても育英会は続けて欲しい。たとえ、一人でもいいから続けてくれ。頼むな。」と言われた事が、この三年間頭から離れることはありませんでした。以来、寺の行事、檀務の繁忙の中時間をつくり、関係各位様の協力を頂いて主となる派遣先アメリカ・タイ・ドイツ等に足を運び、師父の理念そして、実践してきた事を目のあたりに致しました。その中で多くのご縁の方々に背中を押

され、また、総代会の賛同もいただきました。ここに育英会を継承し、更に発展させていけるように精一杯、弁道精進致す決意でございます。今後ともご指導宜しくお願い申し上げます。

さらに山内では、五月に境内中庭の地蔵菩薩さま群像の中央に「ほほえみ子安観音菩薩」さまをお迎えすることができました。

なにもかも大圓武志大和尚の余徳と感じ入っております。

迎える年は四年目。自身の正念場と位置づけ勇往邁進の決意です。

「来者如帰（来る者帰るが如し）」願わくば善光寺はそんな寺でありたいと祈念しています。檀信徒の皆様方、関係ご寺院様方、関係各位様、益々お健やかで安らぎのある日々を心よりお祈り申し上げております。